



# 海のたより



9月スモールヨットレース  
ハニービーが4連勝、年間総合をほぼ手中に

目次	行事予定
表紙 9月スモールレース P 2 佐久島レース、アルミス P 3 同上 P 4 9月スモール、ハニービー P 5 クイックストップ P 6 デニスコーナーカップ	10月10.16.17日 JSAFチャンピオンシップ 10月24日 三河湾合同レース 11月14日 11月ポイントレース 11月21日 11月スモールクルーザーレース 12月11日 MCC年末パーティー

# 佐久島早朝レース

HS@Armis5

## 前夜

この2年ほど春、秋の早朝レースでは比較的良好な成績を取れている様な気がします。早朝レースでコミッティをやらせていただいていることも有利にはたらいっていることも大きいと思いますが…。

前夜、ラグーナマリーナのホームページの天気予報ページをチェックする。弱い風のまま、北西から次第に南西へ回る予想(この天気予報は、他のサービスと比べ、蒲郡の海上の天気予報としては、一番実際の天気に近い印象をもっています)。

豊橋潮流ブイを回ってから、できるだけ西に伸ばし、風が南に振れたところで、タックすれば、正面に佐久島の潮流ブイが見える、様なコース取りができるの良いなど、思いながら床につきました。

## 当日朝

朝、目を覚ますと時計は5時10分。集合時間は5時30分。目覚まし時計は3時にセットしたはず。切ってしまったか、鳴らなかったのか結局不明のままだが、寝坊である。スタート時間は7時、すぐに家を出れば、ギリギリで間に合う。悪いことにお腹が少し下り気味、トイレで少し時間を要した。途中で再度もよおさないことを願いつつ、5時35分に家を出て、いつもより少しだけ速いスピードでヨットハーバに向かう。

6時35分になんとかヨットハーバに到着。三戸が洗濯し柔軟剤仕上げをするために持ち帰っていた新ホーネットのシート類も無事、スタートに遅れることなくホーネットに渡すことができた(やきもきさせて申し訳ありませんでした)。



スタート時、鏡の様な

### ・ スタート

鏡の様な水面、微風の中のスタート。コミッティとしてのスターターの役割を終え、急いで出港、セールを上げ10分遅れでスタート。風を捕まえられてない艇は、僅か100m先で漂っている。

### ・ 豊橋潮流ブイまで

西寄りからスタートしたホーネット、DBが先行し始め、それを追うようにオデッセイが続く。オデッセイに続く順位まであげるが、なかなかオデッセイに追いつけない。一度抜いたルートリス、うらなみが速度を上げ追いついてくる。なんとかスピードを維持し、この順位で回航する。

## 佐久島潮流ブイまで

回航直後は、ヘディングを目標の佐久島潮流ブイに向けることができたが、次第に上れなくなってくる。先行するホーネット、DB、オデッセイはどんどん落とされ、渥美火力へ向かう状況。アルミス以後の艇は、先行3艇ほど極端に落とされることなく走らせている。豊橋潮流ブイを回航後上らせ気味で走らせたため、先行3艇とは別の風道で走らせられたのかもしれない。風が振りきれぬまで辛抱する方針で、西へ向けて走らせる。

先行3艇以外ではセレスティーンとアルミスが西へ向けてのコースを維持する。途中でセレスティーンがタックし、数艇身後ろを通過する。アルミスは佐久島潮流ブイが2時半方向に見える時点でタックする。風の振れで正面にブイが見えることもあったが、結局上りきれず、もう一度タックをしてブイを回航。最初のタックのタイミングが功を奏し、セレスティーンへのリードを広げるとともに、トップ回航することができた。この時点でホーネットが大きく挽回し、セレスティーン、ルートリス、スーパーウェーブ、うらなみ、オデッセイの順で回航。DBは佐久島でランチに変更。

## 豊橋潮流ブイまで

回航後スピンを上げスターボードタックの状態で行きが続く。豊橋潮流ブイへ直接向けようとすると速度が落ちてしまうため。速度を確保しつつ落とすギリギリのコース取りがポイントになる。

今回アルミスは、いつもより速度の確保を優先したため、他艇よりも角度をつけた走りになった。ホーネットもアルミスほどでは無いが、角度をつけたコース取りをしている。

3位回航したセレスティーンが速度を確保しつつ可能な限り落とす効率的な走りをしている。それに続く後続艇を、セレスティーンの効率的



佐久島潮流ブイをトップ回航

MCC海のたよみ10月号・MCC海のたよみ10月号・MCC海のたよみ10月号

なコース取りで牽引する事となった。豊橋潮流ブイ回航時は、セレスティーンに数艇身のリードで、なんとかトップ回航。後続艇も差を詰めてきている。

フィニッシュまで

見かけの風がアビームから少し前のあいだで変化する中のスピンの走りが続く。セレスティーンの追い上げが著しく、回航時のリードが、どんどん詰められてきている。セールトリムなど、いろいろ工夫してみるが、あまり効果は現れず、トップフィニッシュするためには、風を奪い続ける位置に自艇を置き続けるのと、稲垣さんの口撃のみ。

稲垣さんは、舵をとりながら、セレスティーンのスピントリムをするセールメーカーの水越さんに、口撃を仕掛け続けている。それでもセレスティーンの手は落ちることなく、下から抜かれそうな状況が続く。危ないところでしたが、僅か半艇身(約2秒)のリードでトップフィニッシュすることができた。

まとめ

セレスティーンさんの際立った走り、非常に印象的でした。アルミスの走らせ方を見直す良い機会だったと思います。特に弱風中のスピンでの走らせ方(目標が見えると落としすぎ、見えないと上らせすぎてしまう傾向;心理的なものかもしれませんが)、アビーム時の走らせ方など、次回以降に活かしていこうと思います。

参加艇のみなさん、楽しいレースありがとうございました。

今シーズン残りのレースもよろしくお願い致します。



コメント	<p>無風状態でのスタート、コミッティーアルミスのスタート時でも100m程度の差その後北よりの弱い風を掴んだホーネットが先行豊橋ブイはホーネット、ダンシング、オデッセイ、アルミス、ルートリス、ウェーブ、うらなみ、セレス先行3艇が南よりに進めたがカームに、後続するアルミス等は西よりに、これで逆転ダンシングはあきらめて佐久島ランチクルーズに変更佐久島ブイはアルミス、ホーネット、セレス、ルートリス、ウェーブ、うらなみ、オデッセイの順にフィニッシュはトップ艇から15分間で全艇フィニッシュの混戦模様抜きつ抜かれつ大きくはなれず競り合っの楽しいレースでした</p>
------	---

コース	S-小島-豊橋潮流-佐久潮流-豊橋潮流-小島-F						
距離	23 マイル						
風速	5m 以下						
スタート	7:00:00						
			(A)	(B)	(A*B)		
セール No	艇名	TYPE	MRC	着順	所要時間	修正時間	順位
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.021	1	5:12:23	5:18:57	1
5550	Super Wave 6	Slot 31	0.991	4	5:24:23	5:21:28	2
4932	Lutris	Slot 31	0.992	5	5:27:15	5:24:38	3
5404	Uranami 8	J92	0.988	6	5:31:33	5:27:34	4
3173	C'elestine	Seam 31	1.018	2	5:22:25	5:28:13	5
4832	Odyssey	Tsuboi IMS950	0.98	7	5:35:42	5:28:59	6
5791	Hornet	Seam 31	1.017	3	5:24:22	5:29:53	7
5933	Dancing Beens 3	Seam 31	1.016	DNF			DNF

## 9月スモール ハニービー優勝…

そしてまさかの落水??

皆様いつも応援ありがとうございます。ハニービーです。  
9月26日ポイントレースは 苦しく心に残る一日になりました。

落水は貴重な経験、誰の身にも起こる可能性がある。今回大事故に繋がらなかったのは運がよかっただけ。  
警鐘を鳴らず意味合いで振り返り会報で報告せよ… 師匠中村会長から指示を受け以下の通り報告します。

### 【レーススタート 11:00】

9月ポイントレース。東風5, 6m。スモールレースお馴染みの竹島—三谷変則ソーセージコース。乗組員は5名。  
三戸、しのぶちゃん、ゆきちゃんのオリジナルメンバー3名と 助人ホーネット正木君、ケーニツヒのヒロコさん。  
ハニービーはセール新調成果で例年に無い好成績が続いており気合十分。スターボでラインにアプローチ、ジャイブ、スピ  
ンアップ、スタート。そんなイメージを全員で共有しスピード維持してスタートできるようスタート10分前からスタートシュミレー  
ションを開始する。ポートでスタートするので有利なりミットブイ寄りを狙う艇団を避け真ん中からやや下よりのスペースから  
楽々イメージ通りスタート。

### 【レースフィニッシュ 11:51】

集中し慎重に丁寧にミスなく走るのみ。早めのジブアップ、スピンドウン。トップで竹島マー  
ク回航後タック。岸に寄せてから三谷マークを狙う。スタートで練習した動きとイトレが役  
立ち回航後ベア、ジャイブしてスピンアップ。うまくいった。その後波と風に合わせ慎重に  
ベアノージャイブで竹島下マークに到達。艇の上はあたふたドタバタしながらも大トラブル  
無く最後の上りレグを迎えた。無事トップフィニッシュ。



### 【レース後マーク回収に向かう 12:00頃】

勝てたかな?うまくいったね、おつかれさま〜と声を掛け合いジブダウン。トップ艇のお役  
目である竹島マーク回収に意気揚々と向かう。最大最悪のミスプレーがこれから始まること  
には気づいていない。

竹島マーク付近に到着。風が上がって白波が立ち始め乱れた波が高くなり始めた。メインセールダウンし風下からブイ回収に  
向かう。ポートタック側からブイを拾う想定で前からゆきちゃん、ヒロコさん、しのぶちゃんの順で待機。スピードダウン、船をブ  
イに寄せる。ブイを拾おうとしたその時…

### 【落水・救助 12:10頃】

信じられない事故が発生。ポート側のライフラインが切れてゆきちゃんとしのぶちゃんが勢い余って落水。

しのぶちゃんは頭から突っ込んで完全落水。ゆきちゃんは手を船に残したままぶら下がっている状態。浮かび上がったしの  
ぶちゃんの顔を確認しまずは船を止めたままぶらさがっているゆきちゃんをスタンから拾う。

次にしのぶちゃん救助の為風下から船を寄せる。浮き輪を出そうとしたが近寄ってこれた(と思えた)ので捕まりやすいようにも  
やいロープをスタンから垂らした。(いま思えば浮き輪を使った方が良かったと思う)

しのぶちゃんは落ちる時に手に持った1mlほどホースを差し出した。(ホースはライフラインに当たるスピンスートの保護用に付  
けていたもの)それを頼りに身体を引っ張り寄せて正木君がスタンから引き上げた。

### 【落水者着岸 12:35】

ブイも回収しエンジン全開で三谷漁港に向かう。最初はブイの保管場所である旧ハーバーに向かおうとしたが船に着替えの  
用意が無くホームポート三谷漁港に寄ることにした。すぐに蒲郡荘に行き風呂に入るよう言い二人を岸壁で下ろした。

### 【検証】

今回の事故を振り返りました。

#### 1. 原因

ライフラインの止め具部分が緩んで力かけた弾みで外れてしまった。緩んでいることに気が付かなかったことが原因。整備  
不良。単純な確認ミスが大きな事故に繋がるという恐ろしい結果。

#### 2. 状況と結果

運がよかったことが重なり最悪な結果にはならなかった。考えられるラッキーポイントは以下2点。

##### ラッキーその1:ライジャク

完全落水のしのぶちゃんは、落ちた瞬間、身体が海中で回転したため上下や状況がわからず一瞬パニックにな  
ったと回想している。船上の私は浮いてきたことを確認できてまずは安心した。正木君が「動かずに浮いて」と声をかけた。  
この日波が少し高くなってきていて海の中の彼女からは時折船が見えなくなり非常に不安だったという。



MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号

ハニービーでは風の強弱によらず常にライジャケ着用しているが今回ほどライジャケつけてよかった、ありがたいと思ったことはない。

### ラッキーその2: 落水地点

落水時ブイを拾うため艇は失速しており落水者から離れずに済み10分以内で救助できていると思う。海(落水地点)から岸(漁港)まで近かったことも幸い落水地点から岸に戻るまでの時間は20分程度だったと思う。

しかし落水した二人は冷えて顔色が見る見るうちに土気色になっていった。港に着くまでの時間が感覚的には長かった。落水した二人が風呂に入るまで時間は落水から1時間以内だったと思う。しかし身体が冷え切ってしまう二人には蒲郡荘の風呂はぬるく感じたという。



### 3. 反省

この日はレース中に救命具(浮き輪)を吊るす事を忘れていた。船の中のどこにあるかとつさに思い出せず、すぐに取り出すことが出来なかった。レース中だったら？レース海面が遠かったら？とにかく助かってよかったと思うのみです。当たり前前の整備を当たり前に行うことが大切です。皆様もあらためて船の装具やリギン類の再チェックを！！

## 落水—クイックストップとライフスリング

JSAF外洋特別規定付則Dにその方法手順について説明されていますのでその概要を紹介します。詳細は <http://www.jsaf.or.jp/anzen/sr/2010/document/osr-2010-2011.pdf> (P16)を参照してください。

### 落水—クイックストップとライフスリング

クルーが落水した場合、救出時間が最も重要なことである。救助システムが効果的であるためには、単純で、電撃的早さで行なわれることである。USセーリング海上安全委員会等は共同で広範囲にわたる調査と海上実験を指揮し、推し進めた。作業の結果が落水者救助方法の「クイックストップ」である。

この方法は風上へ向かうことにより、素早くボートスピードの減速を行ない、その後遭難者の近くで適度のスピードでマニューバリングを行うという点において、その優秀性が認められている。

優れているのは、ほとんどの場合リーチングから切り上がりその後ジビングまたはタッキングそして反対のコースに戻るという、ありきたりの手順で出来ることである。

1. 「落水！」と叫ぶ。落水者をワッチ(右図参照)
2. すぐに浮力の有るものを投げ込む。
3. 艇を風位にたてる。
4. ヘッドセイルに裏風をいれて艇速をさらに落とす。
5. ヘッドセイルに裏風を入れ続け
6. ブロードリーチのコースからデッドランに
7. 転回中もジブシートを緩めずヘッドセイルを降ろす。
8. 落水者が艇の横になるまで下り
9. ジャイブする。
10. 落水者風下から接近する。
11. 確実に落水者に接触する。ヒービングライン等で落水者と連結すること
12. 風上側で、効果的な救助を行う。

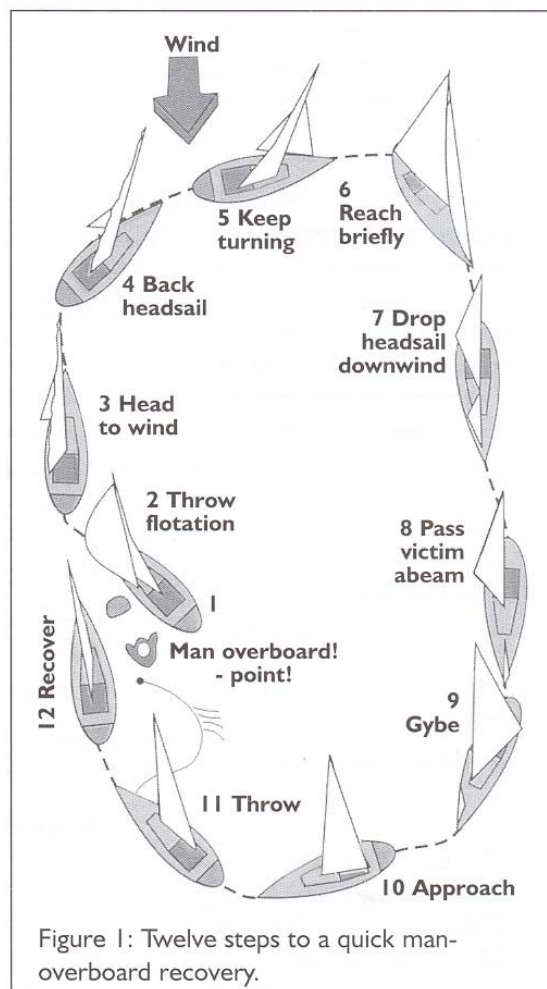


Figure 1: Twelve steps to a quick man-overboard recovery.

### スピナーカー使用時のクイックストップ

同様な手順がスピナーカーを使っている場合にも適応させて使うことが出来る。前述のインストラクションに従うこと。艇を風に立てて、ポールを素早くヘッドステイまで出し、スピンハリヤードを素早く降ろし、セイルをフォアデッキに集める。ターンはタックをしながら続け、落水者へのアプローチ方法を始める。

## 第21回デニスコーナークップ

10月10日ラグナマリーナをベースに題記大会が開催されました。  
 MCCからはIRCクラスにダンシングB、ホーネット、TRSクラスにアルミス、セレスティーン、Sウェーブ、ホープが参加、挑戦しました。  
 前日は強風と大雨でしたが、当日は雨が上がり風も収まり穏やかな天候で朝を迎えます。  
 9時頃には北西風が吹き始め何時からどこまで上がるかを気にしながらスタート海面に……  
 コースは湾内、西浦沖に設置したマークを回航する20マイル程度のコース  
 スタート時は10ノット程度も風上マークに向かうにつれて上がりだしました  
 下マーク(スタートマーク)に戻り西浦に向け蒲郡No2を通過する頃には16ノット超に  
 セールチェンジする艇が出始め、風は上がったたり下がったりを繰り返します  
 復路はさらに上がり20ノット超も、スピランが厳しいアビームに近い風  
 厳しい環境でスピランがバーストする艇も……  
 スタートマークを回航しFマーク(上)へ最後のレグ、後続艇ほど厳しい風でした。  
 結果は下記成績表のとおり、デニスコーナークップはカイトに  
 MCCではアルミスがTRSクラス準優勝でした。



スタート時の写真、左スタート前、右スタート後

### IRC Class

順位	S No	艇名	艇種	TCC	所要時間	修正時間
1	5870	Kaito	J/V35	1.070	3:08:30	3:21:42
2	6155	Flawless	FIRST36.7	1.025	3:20:56	3:25:57
3	5503	Gust	cookson12	1.139	3:01:25	3:26:38
4	4825	Boomerang	J/24	0.888	3:53:05	3:26:59
5	5619	Akea	J/V9.6CR	1.017	3:24:13	3:27:41
6	4004	Paraphrenian	First 40.7	1.069	3:14:37	3:28:03
7	6308	Bengal-7	OHASHI46	1.282	2:48:13	3:35:39
8	68	Sparky Racing	Melges24	1.034	3:30:57	3:38:07
9	5830	Sea Falcon II	Y-33S	1.039	3:29:57	3:38:08
10	5841	Roku	SEAM31	1.015	3:36:37	3:39:52
11	5363	Just Eight	MUMM36	1.091	3:23:31	3:42:02
12	6318	Saiki	VITE	1.029	3:36:24	3:42:41
13	5055	Narumi	Y-33S	1.039	3:34:41	3:43:03
14	5791	Hornet	SEAM31	1.017	3:39:38	3:43:22
15	5865	Sweet Aloha	First 40.7	1.069	3:29:55	3:44:24
16	5933	Dancing Beans III	SEAM31	1.016	3:41:09	3:44:41
17	3765	Monday Night	Sprint50	1.249	3:00:57	3:46:00

### TRS Class

順位	S No	艇名	艇種	TRS	所要時間	修正時間
1	5650	KoNIG	JV9.6CR	99.1	3:29:10	3:31:04
2	4774	Armis 5	JV9.6	98.9	3:31:29	3:33:50
3	2321	Mistral 4	Yamaha31S	102.7	3:52:44	3:46:37
4	3173	C'elestine	SEAM31-II	99.2	3:45:18	3:47:07
5	6496	Hope I	Y-21C	117.8	4:33:23	3:52:04
6	4135	Danryu 2	Y-33S	96.7	3:45:54	3:53:37
7	6501	Eleve	First31.7	104.4	4:09:02	3:58:32
8	5920	High Tension	Y-23-III	114.7	4:46:00	4:09:21
9	5083	Annex 5	First 35.7	101.4	4:28:53	4:25:10
DNC	5550	Super Wave 6	SLOT31	99.8	DNC	

MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号